

2 住宅の状況

(1) 住宅の種類、建て方

居住専用住宅は 695,300 戸 居住世帯のある住宅数の 98.1%

一戸建ては減少、共同住宅は増加

平成 30 年の居住世帯のある住宅数は、709,000 戸で、平成 25 年と比べると 4,700 戸減少している。

住宅の種類別にみると、「専用住宅」が 695,300 戸、「店舗その他の併用住宅」が 13,700 戸で、専用住宅の占める割合が 98.1%(全国 98.2%)と、極めて高くなっている。

住宅の建て方別にみると、一戸建が 481,500 戸で、住宅全体の 67.9%(全国 53.6%)を占めており、長屋建が 14,700 戸(2.1%)、共同住宅が 209,900 戸(29.6%)、その他が 2,900 戸(0.4%)となっている。

平成 25 年と比べると一戸建は 10,900 戸(1.1 ポイント)減少しているが、共同住宅は 6,700 戸(1.1 ポイント)の増加となっている。

共同住宅を階数別にみると、「1～2階建」が 58,100 戸、「3～5階建」は 106,300 戸、「6階以上」は 45,400 戸で、「3階建以上」が 151,700 戸と共同住宅の 72.3%(全国 73.3%)を占めている。

平成 25 年と比べると、「3～5階建」は 10,100 戸増加しており、共同住宅の高層化が進行していることがうかがえる。

表 3 住宅の種類と建て方 (単位：戸)

区分	鹿 児 島 県			全 国			
	平成25年	平成30年	増減 (30-25) 増減ポイント	平成25年	平成30年	増減 (30-25) 増減ポイント	
居住世帯のある住宅数	713,700	709,000	▲ 4,700	52,102,200	53,616,300	1,514,100	
割合	100.0%	100.0%	—	100.0%	100.0%	—	
種類	専用住宅	695,400	695,300	▲ 100	50,981,700	52,642,200	1,660,500
	割合	97.4%	98.1%	0.7	97.8%	98.2%	0.4
	店舗その他の併用住宅	18,300	13,700	▲ 4,600	1,120,500	974,100	▲ 146,400
	割合	2.6%	1.9%	▲ 0.7	2.2%	1.8%	▲ 0.4
建て方	一戸建て	492,400	481,500	▲ 10,900	28,598,700	28,758,600	159,900
	割合	69.0%	67.9%	▲ 1.1	54.9%	53.6%	▲ 1.3
	長屋建て	14,400	14,700	300	1,288,600	1,369,200	80,600
	割合	2.0%	2.1%	0.1	2.5%	2.6%	0.1
	共同住宅	203,200	209,900	6,700	22,085,300	23,352,700	1,267,400
	割合	28.5%	29.6%	1.1	42.4%	43.6%	1.2
	1～2階建	59,800	58,100	▲ 1,700	5,880,400	6,237,000	356,600
	割合	8.4%	8.2%	▲ 0.2	11.3%	11.6%	0.3
	3～5階建	96,200	106,300	10,100	8,351,300	8,849,100	497,800
	割合	13.5%	15.0%	1.5	16.0%	16.5%	0.5
6階以上	47,200	45,400	▲ 1,800	7,853,600	8,266,500	412,900	
割合	6.6%	6.4%	▲ 0.2	15.1%	15.4%	0.3	
その他	3,700	2,900	▲ 800	129,500	135,900	6,400	
割合	0.5%	0.4%	▲ 0.1	0.2%	0.3%	0.1	